

# 平成27年度第5回政策会議

日時 平成27年11月16日(水) 9:45~10:15

会場 市長会議室

参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 川越企業局長 山本教育長  
種田企画部長 高橋総務部長 入江財務部長

## 2 第1グループ中学校の再編に係る学校配置 および施設整備について

◎対応 小山学校教育部長 川村生涯学習部長 佐藤生涯学習部次長  
齋藤学校教育部参事 秋元施設課長 阿部生涯学習部管理課長

### ◆ 議題の趣旨 ◆

第1グループ中学校の再編に係る学校配置および施設整備について協議しました。

### ◆ 協議の結果 ◆

本件の内容は了承されました。

### ◆ おもな発言 ◆

□小山学校教育部長

再編計画の第2期となる、西部地区の第1グループ中学校3校の再編については、本年7月に保護者や地域住民を対象として説明会を開催し、答申内容等の周知を図るとともに統廃合への理解を求めてきた。

説明会終了後、現在まで統合への反対意見は寄せられておらず、教育委員会としては、統合について、保護者や地域の理解が得られたものと判断したところである。

本日の会議において、第1グループ中学校の再編における統合方針について決定していただきたい。

一つ目は再編方針であるが、西中、潮見中、宇賀の浦中の3校を1校に統合し、統合校は現潮見中の校舎を使用する。通学区域については、1つの小学校から同じ中学校に進学が可能になるよう、宇賀の浦中の通学区域のうち中部小のエリアを、潮見中の位置に出来る統合校ではなく、的場中の位置に出来る統合校の通学区域に変更する。この通学区域の変更が円滑に行われるよう、再編の実施時期を的場中の統合校の開校時期と合わせ、平成30年4月と考えている。

2つ目は統合後の学校規模であるが、現在、各校とも5~6学級だが、統合後は10学級となり、再編計画に定めている望ましい学級規模を確保できる見込みである。

3つ目は統合校の校舎等の整備である。統合による学級数の増加に伴い、既存の多目的教室を普通教室に転用するなどの改修を実施したい。事業費は3,900万円と試算している。

■工藤市長

潮見中は耐震改修が終わっているのか。

■秋元施設課長

平成4年に建て替えており、新しい耐震基準の建物である。

■川越企業局長

スクールバスなどの運行は考えているのか。

■種田企画部長

6 kmの範囲におさまるのか。

□小山学校教育部長

この校区では1番遠いところで約3 kmくらいになり、基本的にはスクールバスの配置としては6 km以上となるので対象とはしない。

■川越企業局長

中学生は電車で通うことも想定しているのか。

□小山学校教育部長

これから統合の準備委員会で通学方法そのものについて協議をすることになる。  
ただし、電車で通うにしても、通学路が遠回りになることや冬場の問題を含めて協議する。説明会の中ではそういう意見が保護者の方からも出ており、ほかに通学路の除雪の確保など、主に通学に係わる意見が多くあった。

■種田企画部長

それでは、本件に関しては了承することとしたい。